

Sturm

シュトゥルム

ニュースレター第1号ができました！

皆さんこんにちは！加納伊都後援会TRAUBENの、記念すべき最初のニュースレターをお届けします。後援会発足のミニパーティも、伊都さんの次回帰国に合わせ、7月に決定！後援会主催の初めてのコンサートも決まり、うきうきわくわくのスタートです！！



伊都さん近況報告

このニュースレターの愛称“Sturm”（シュトゥルム）とは、ワインになる前の発酵途中のワインのことです。濁っていて少し甘くて、飲み心地最高です！秋にしか飲めない季節の味なのですが、春といえばイースター、今年も、ウィーンのいろいろな場所で、ミサのお手伝いをしたり、お祝いのコンサートで演奏をしてきました。2月の末から3月にかけては、コンサート企画のためにイタリアのミラノとヴェローナに滞在。また5月の末もイタリアに行ってきます。

その後6月初旬はベルリン郊外にて、2回コンサートを行い、帰ってきたらウィーン、そしてザルツブルグでも、オーケストラのお手伝いをします。7月は日本でコンサート。今年は、あちこち飛び回る年になりそうです。 【伊都】



シェンブルン宮殿内の劇場にて

ヨーロッパスケジュール

- 5月末 イタリア、フェルモにて室内楽コンクールに出場。
- 6月11日 ドイツ
- 14日 ベルリン郊外の街ノイルピンにてコンサート（病院・教会）

山手ベーリックホール ダイヤモンドスノーコンサート

2月22日夜、山手の洋館で伊都さんのコンサートが開かれました。ベーリックホールは1930年に建てられたイギリスの貿易商ベーリックの邸宅。暖炉とサンルームのある広いサロンで60名満席のゲストと聴く、伊都さんのヴァイオリンは、しばし時の流れを忘れさせてくれ…ヴィヴァルディ〈四季〉「冬」の澄んだ音色が心に沁みたひとときでした。



ベーリックホールコンサート

* ホイリゲ * Heurige *

ホイリゲとは、オーストリアのワイン居酒屋のこと。美味しいオーストリアワインをご紹介します！

伊都さんも大好きなオーストリアワイン。ワイン好きの国ながら輸出は少なく、国内消費が90パーセント以上なので、日本ではあまり知られていませんが、世界では大変高い評価を得ています。

一番の代表選手は「グリュナーフェルトリーナー」というオーストリア固有品種の白ワインです。

試しに飲んでみましたが、なかなかいけます。辛口ですがフルーティ。少し酸味があり、さっぱりと

飲みやすく、日本料理にもよく合います。ホイリゲではガブガブ飲まれているとか。おうちで手軽にウィーン気分。是非お試しください。入手しにくい時はネットで買えます。ちなみに、7月の親睦会で試飲していただく予定ですでお楽しみに！



親睦会の日程が決まりました！

会員の皆様、長らくお待たせしました！次回の伊都さんの帰国に合わせ、下記のように第一回の親睦会を開きます。詳細や、参加申し込み等については後日、ご案内を郵送致します。皆様のご参加をお待ちしています！

第一回TRAUBEN親睦会（発足記念ミニパーティ）

日時：2008年7月26日（土）午後2時～4時

場所：山手234番館 レクチャールーム

参加費：無料（会員と同伴のご家族、お友達も無料です。）

* 飲み物と軽食をご用意します。

* 当日は伊都さんに演奏もお願いしています。

TRAUBEN主催の コンサート開催！！

初めての、後援会主催コンサートやります！

今のところ、日程が8月中旬から下旬というところまでしか決まっておらず、場所は「由緒のある素敵な建物」で調整中。

皆さん、楽しみにしていてくださいね！

op.1

いとちゃんのクラシック講座



“ヴァイオリン”とは、ピアノと並ぶ誰でも知っているポピュラーな楽器ですが、どんなしくみになっているのかは意外と知られていないのではないのでしょうか。

ヴァイオリンは弓で弦を振動させることによって音を出します。この弦をこすって音を出す弦楽器は、もともとアジアからヨーロッパに伝えられ、起源はモンゴル周辺の馬頭琴といわれています。10世紀前後にはヨーロッパに渡り、今のヴァイオリンの原型が作られていたそうですが、1550年頃、イタリアで突如として今のヴァイオリンが造られるようになり、それから今日までその形、構造はまったく変わっていません。名器ストラディヴァリ（1600年代）が現在愛用されているのもそのためです。

ヴァイオリンの内部は空洞になっていますが、中に入っている、表板と裏板（それぞれ木の種類が違います）を支える木の柱を魂柱といい、この魂柱が振動を伝え、音質、音量を決定しています。名前の通り楽器の中で一番大切な部分です。ヴァイオリンは本当に楽器ひとつひとつ個性があり、音色、弾き心地がまったく違いますが、なぜ良い音が出るのかは、音響学的上ははっきりとわかっていないそうです。

ただ、人が弾きこむこと、それは楽器の音を良くし、楽器を進化させる重要なことであらうであり、上手な人が演奏することで、楽器の振動がスムーズになり、良い音が出るようになるといわれています。素敵な音色が出せるよう、頑張ります！

【伊都】

*** 編集後記 *** ニュースレター“Strum” 第1号、いかがでしたか？ 伊都さんの二つの原稿なしには成り立たない構成も、文筆に才能を発揮する彼女の後援会誌ならではの、と、編集者はラクができて喜んでます。ついでに“ホイリゲ”連載の大義名分でも、オーストリアワイン飲めるのもウレシイ…。ところで後援会初主催のコンサート、気合い入れて頑張りますので、皆さんも応援よろしく願いますね！ ご意見ご感想をお待ちしています！ 《ゆ》

発行：加納伊都後援会TRAUBEN

〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台15

TEL : 045-622-6780

FAX : 045-621-6423

Email : itoviolin-kouen@memoado.jp

Homepage : <http://www.ito-vn.jp/>